

## 自由記述欄より

- ・上鳥羽の農育活動ありがとうございます！大変貴重な経験となっております。お世話くださる地域の方々、感謝しています。
- ・スマホが普及するに伴い、道徳などいじめ問題について勉強する機会があるにもかかわらず、自分のしている行動がいじめに繋がるとわからない子どもが増えたと思います。LINEやSNSのいじめについて、被害者や加害者にならないためにも学校でも教わってほしいです。
- ・細かいところまで、子供に気を配っていただきて、感謝しております。
- ・子供のことをよく理解してくださっていて、細やかな気遣いに感謝しております。

☆貴重なご意見ありがとうございました。今後の参考にさせていただきます。

### 保護者・地域による外部評価

「学校は子どもの安全のための取組を進めている」という項目においては、後期もよい評価をいただいている。子どもたちは見守り隊の方々に温かく接していただき、安心して登下校できているようです。このように、登下校指導で、学校や保護者、あんしんあんぜん上鳥羽推進委員会の夕陽の見守り隊の方々によって充実した取組を継続していただいている成果だと思われます。

一方で、「読書好きの子どもに育ってきていた」との項目については、否定的な回答の割合が多く、本校の課題になっています。読書は、物語の世界に浸ったり、偉人の半生を追体験することで、想像力を高めたり、多様な表現に触れることで語彙力を高めることができ、知識を増やすだけではなく、表現力の向上にもつながります。朝の読書タイムなどを通して読書の時間を確保するとともに、図書ボランティアさんの読み聞かせ等本とふれ合う機会を増やし、読書の世界を広げたいと思います。

### 児童のふりかえりのアンケート結果

「学しゅうのやくそくやきまりをまもっている。」「まい日、しゅくだいができる」との項目について、高い肯定的な意見が出ています。多くの児童が高い学習意欲をもって授業に臨み、家庭学習などの課題についても最後までやり切ろうとする姿が見えています。

「いつでもあいてのめをみて、じぶんからあいさつできる。」「かんしゃのきもちをもち、あいてにつたえている。」の項目で「よく出来ている・大体出来ている」という回答が多くなっています。今年度の上鳥羽小学校4つのキーワード「あいさつ・そうじ・感謝・学び合い」について、児童が意識して取り組めたことは、大変すばらしいです。子どもたちは、自ら、あいさつや感謝の気持ちなど心のふれあいの大切さに気づき、実行できたのだと考えます。また、今年度は、人権月間でもあいさつを意識して取り組みました。これからも人と人とのつながりを忘れず、あいさつを大切にする・人に感謝する心を育んでいきたいと考えています。

### 教職員(自己評価)のアンケート結果

「児童は、基礎的基本的な知識・技能を習得している。」は、あまり出来ていない回答が多くなっています。今後もより児童が理解できるよう授業や個別指導のあり方などの研修を重ねていきたいと考えています。

アンケート結果にはありませんが、家庭学習の定着が学校の課題として、よく教職員の間で話題になります。日々の家庭学習の定着を図るために学習の工夫や、家庭学習に対する意識の向上を今後の課題として捉えて取り組んでいきます。

「学び続ける」ということが教育の目指すところであり、学校だけでなく保護者・地域の取組としても家庭学習の定着が求められています。今後とも、学校は子どもたちの生活習慣の一つとして家庭学習を位置づけ、保護者への啓発を学校だより・学級だより等で行いたいと考えています。

### 学校関係者評価 学校運営協議会 理事会 令和7年3月

- ・引き続き図書ボランティアと連携を図り、子どもたちが本とふれあう機会を作る取り組みを続けてほしい。
- ・子どもたちは地域での様子を見ていると、しっかり挨拶できるようになっている。これからも継続して取り組みをしてほしい。子どもたちがやらされているのではなく、自発的な取り組みを考えて挨拶できるようになってほしい。
- ・長年続けている総合的な学習での食育の授業は今後も続けていき、野菜を自分達で育てる通して、野菜作りの大変さや栄養価、作ることや食べることの喜びなどを伝えていきたい。
- ・SNSやラインによるトラブルは、深刻な問題である。まずは、家庭で親が自分の子どもに使い方のルールを話しこむことが必要である。それができないから、このような現状になっていると思う。学校でも情報モラル教育を行い、児童に注意喚起をしてほしい。

